ソフトインストール・シャットダウン連携操作
簡易マニュアル（360NⅡ／1000NⅡ：LAN用）

注意

サーバー管理者、社内システム責任者ご承認の上で詳しい方のみ操作してください。
誤った操作をすると、UPSにアクセスできなくなる恐れがあります。本マニュアルにしたがって操作してください。
また、お使いのPC環境によって画像は多少異なる場合がございます。

■1．準備

1．1　立上げ準備

本品の入力プラグが商用電源（AC100V）に接続され、UPS起動している事を確認してください。起動していない場合には、UPSのONスイッチを「ピッピッ」とブザーが2回鳴るまで長押しして起動確認をしてください。その後にシャットダウン連携させるPC（Windows版）も起動させてください。

ONスイッチ

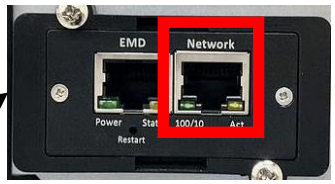
UPS起動

※1000NⅡ同様操作。

1．2　LAN接続

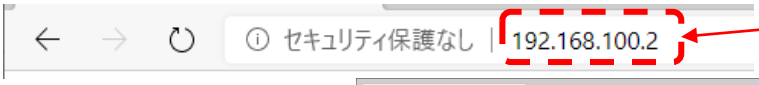
PCとSNMPカードの“Network”と書かれたコネクタを、LANケーブルにて接続します。SNMPカードのIPアドレス（初期設定）は、192.168.100.2　です。
接続するPCのLANアダプタはあらかじめ、SNMPカードのIPと同一セグメントに設定してください。

SNMPカード

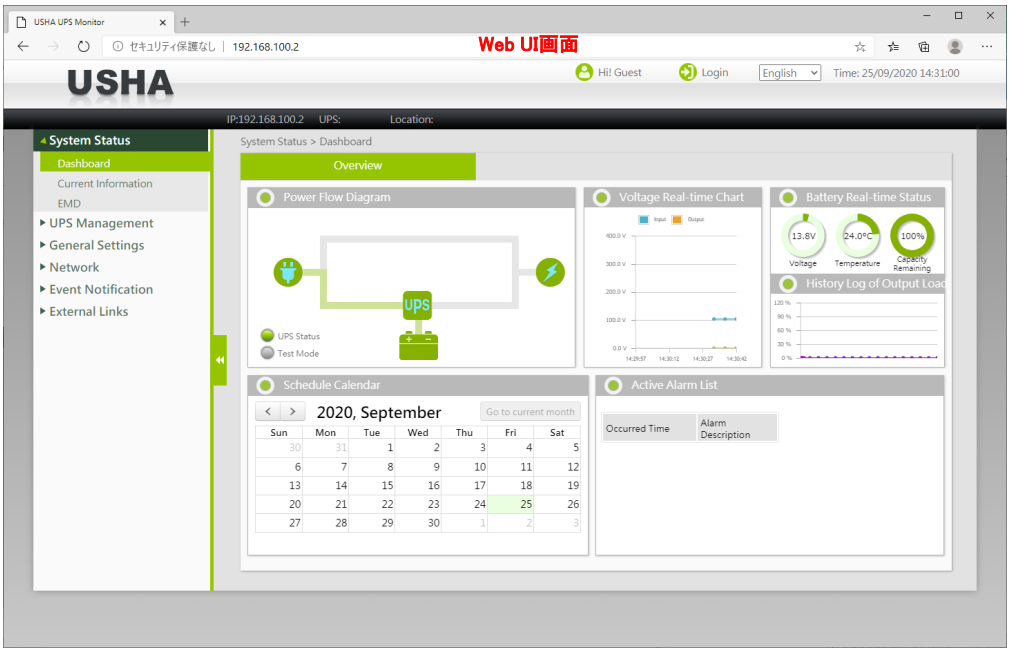


1．3　SNMPカードへのアクセス

PCのWebブラウザを起動し、アドレスバーにSNMPカードIPを入力し、SNMPカードのWeb UIにアクセスしてください。（SNMPカードの初期IPは、192.168.100.2 です。）以下のようなSNMPカードのWeb UI画面が表示されれば、接続は完了です。



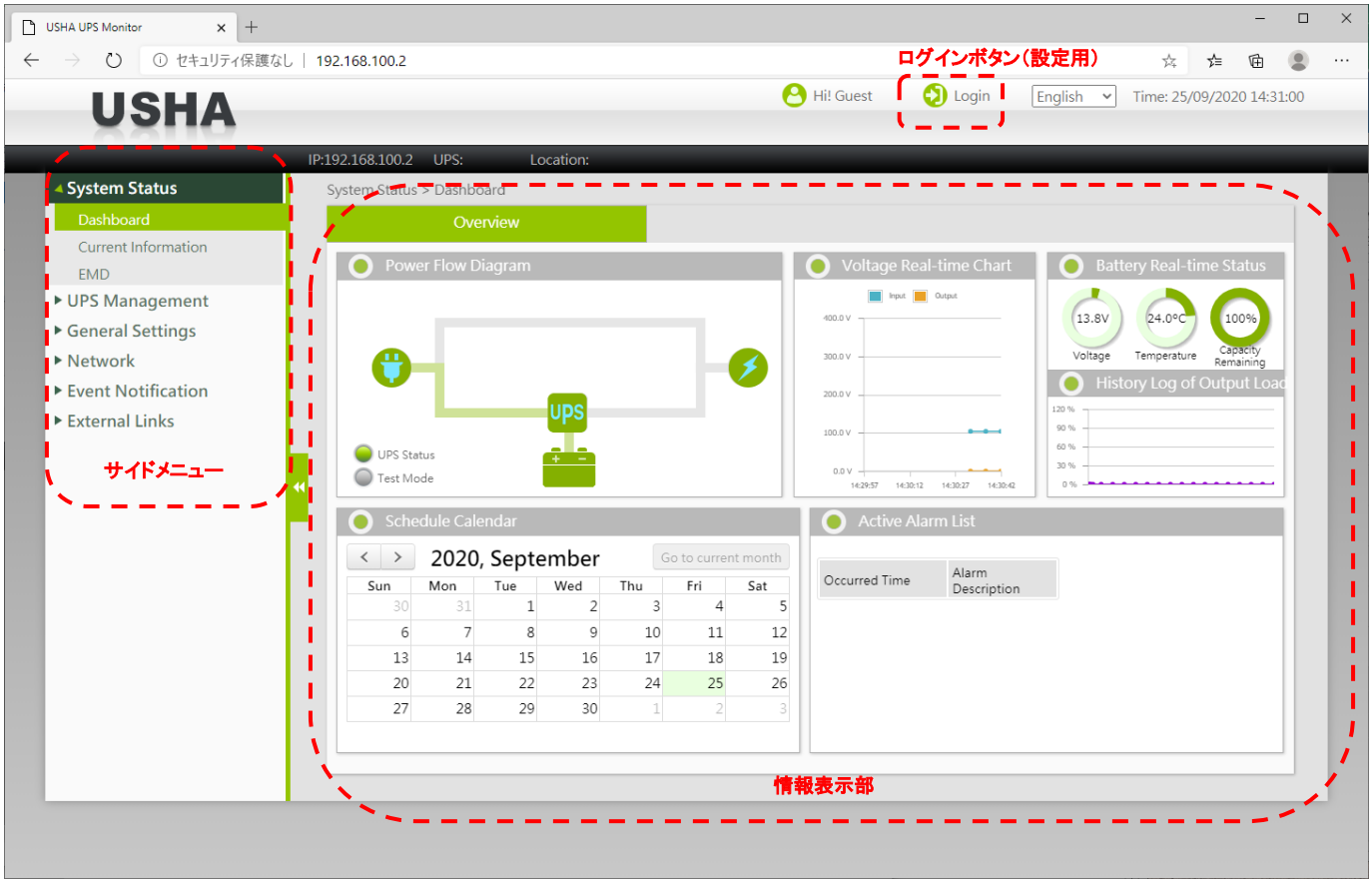
SNMPカードのIP「192.168.100.2」を入力。



©Hakusan Inc.

1．4　Web UI　画面内容

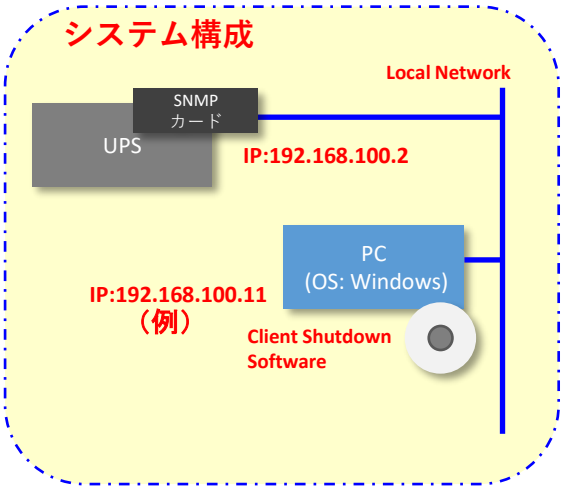
Web UIの画面構成は以下のとおりです。



■2．PC（Windows）とのシャットダウン連携設定

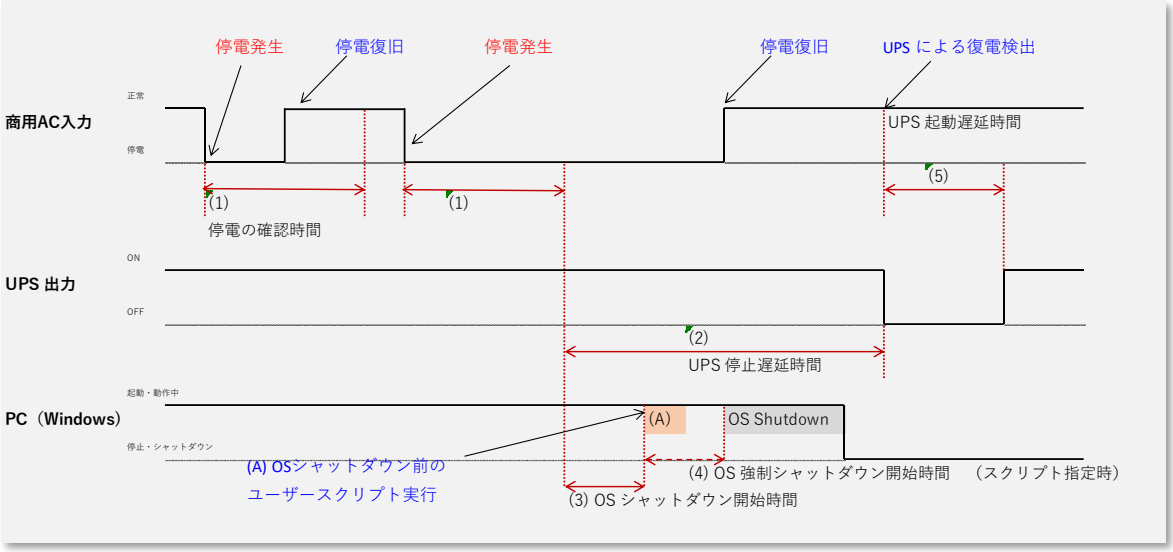
シャットダウンソフトウエア：“Client Shutdown Software（Windows版）”をインストールすることで、UPSで検出する停電発生などのイベントで、PCのシャットダウン処理を行うことができます。

右のシステム構成において、停電発生時にPCのシャットダウンを行う設定を説明します。



©Hakusan Inc.

2．1　停電時のPCシャットダウンタイミング



上のタイミングチャートは停電発生時のシャットダウン動作を表しています。
SNMPカードおよびClient Shutdown Software（以下ソフトウエア）で設定できる項目は次のとおりです。チャート内の（1）～（5）、（A)に対応しています。:
（1）停電の確認時間:　任意の時間、停電が継続した場合にPCのシャットダウンを実行するための確認時間です。この時間以内で停電が復旧した場合は、PCのシャットダウンは行われません。

（2）UPS停止遅延時間:　（1）停電の確認時間が経過後、UPS出力を停止させるまでの時間です。PCのシャットダウンに必要な時間以上の時間を設定します。<u>設定されない場合には、PCが正常にシャットダウンできない可能性があります。</u>

（A）OSシャットダウン前に、プログラムやスクリプト実行が必要な場合は、プログラム名・スクリプト名を定義します。

（3）OSシャットダウン開始時間:　（1）停電の確認時間が経過後、OSシャットダウンを開始するまでの時間を設定します。　1秒以上の値を設定してください。

（4）OS強制シャットダウン開始時間:　（A)のプログラムまたがスクリプトが定義されていた場合有効になる時間設定です。　（A）で指定したプログラムまたはスクリプトが実行中であっても、ここで設定した時間経過後にOSのシャットダウンを強制的に開始します。

（5）UPS起動遅延時間:　UPSが停止し停電が復旧した場合、UPSが起動を開始するまでの最低時間です。工場設定のためユーザでの変更はできません。
　※工場設定は約3秒に設定されています。
　※UPSが停止する前に停電復旧した場合は、約1．5分間UPS出力を停止し、UPSを再起動します。

本資料では、一例として以下の時間で設定を行います。

（1）停電の確認時間:	60秒
（2）UPS停止遅延時間:	120秒
（A）ユーザスクリプト:	設定しない
（3）OSシャットダウン開始時間:	1秒　（停電確定後、直ちにシャットダウン）
（4）OS強制シャットダウン開始時間:	無効　（（A)の定義がない場合、ここの値は無効です。）

©Hakusan Inc.

2．2　SNMPカード側のシャットダウン設定

（1）停電の確認時間、（2）UPS停止遅延時間は、SNMPカードのWeb UIより設定します。

設定値：

（1）停電の確認時間：　　60秒

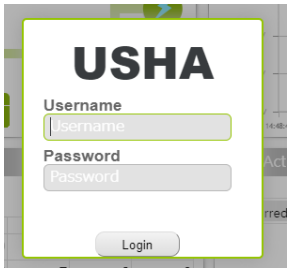
（2）UPS停止遅延時間：　　120秒

2．2．1　Web UI 設定ログイン

SNMPカードの設定は、Web UIからログインが必要です。 初期ユーザ名とパスワードは以下のとおりです。

初期ユーザ名：　　usha　（全て英小文字）

初期パスワード：　　admin　（全て英小文字）



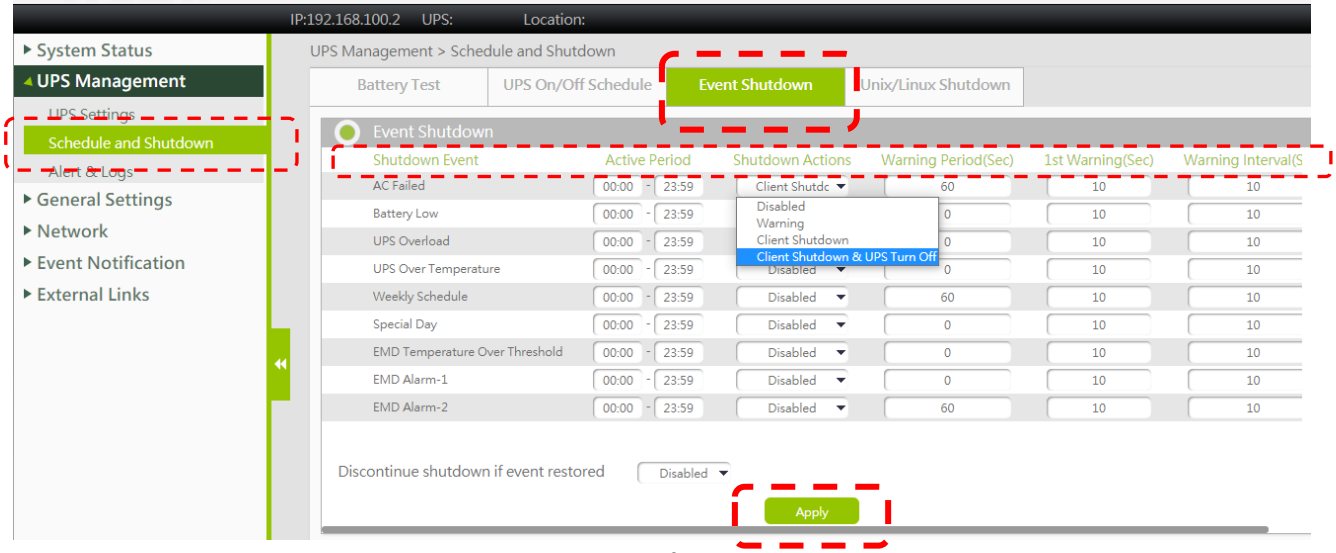
Web UIのメイン画面上部の“Login”をクリックすると、ユーザ名（Username）、パスワード（Password）の入力画面が開きます。
上記の初期ユーザ名とパスワードを入力してください。
ログインにより、SNMPカードの設定が可能となります。

2．2．2　停電の確認時間の設定

Web UIのサイドメニューより、“UPS Management > Schedule and Shutdown” を選択します。
情報表示部の“Event Shutdown”タブを選択します。
タブ画面最上段の“AC Failed”の“Warning Period” が“停電の確認時間”の設定です。 以下のように設定します。

Active Period:	00:00 – 23:59	※停電検出を有効にする時間帯設定です。左は終日の設定です。
Shutdown Action:	Client Shutdown & UPS Turn Off	※PCのシャットダウンとUPSの停止を行います。
Warning Period(sec):	60	※停電の確認時間です。
1st warning(sec):	10	※警告表示の設定です。停電の発生後最初に警告表示を出す時間を設定します。
Warning Interval(sec):	10	※警告表示の繰り返し間隔です。

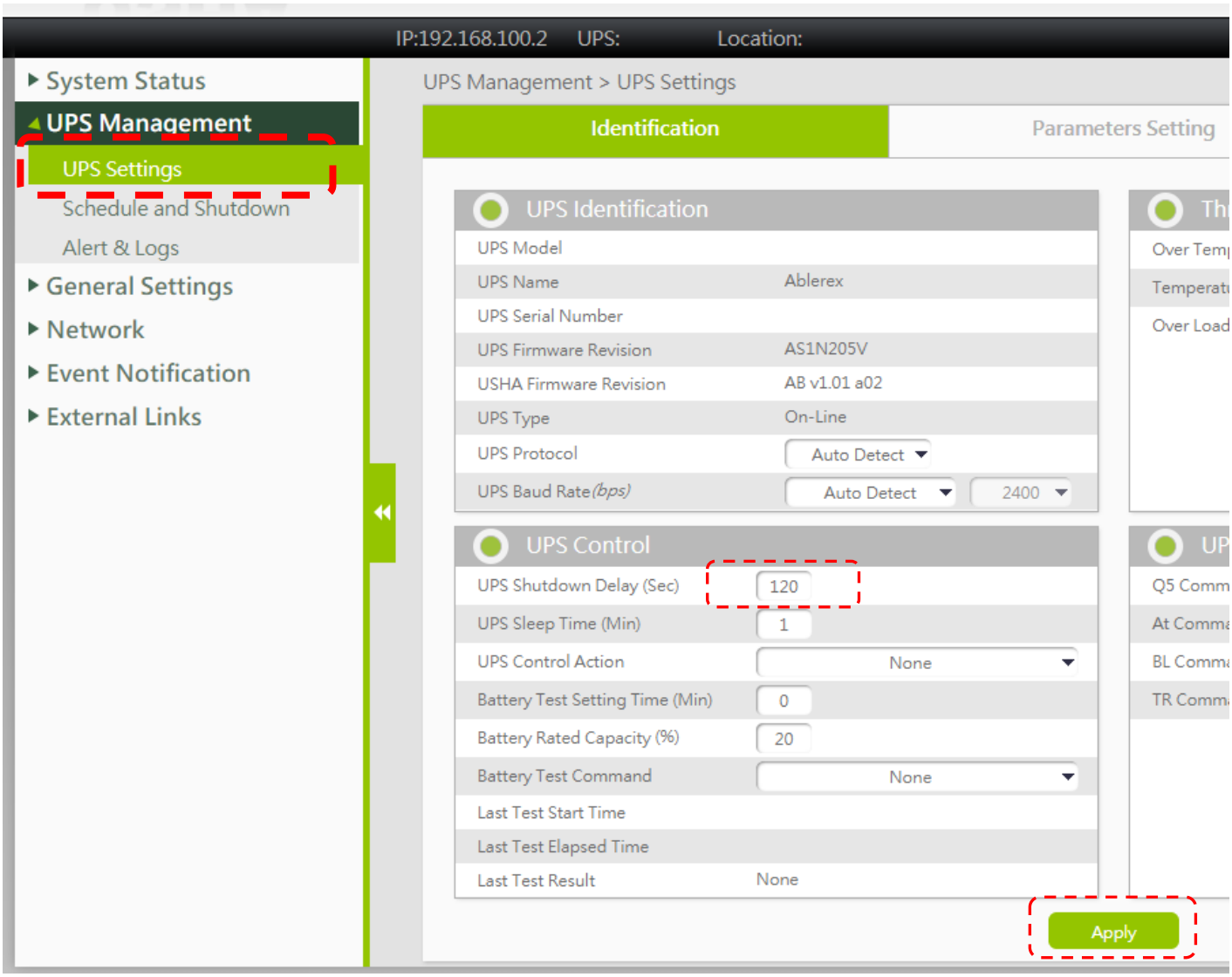
設定後に、“Apply”ボタンを押して、設定を確定させます。※ 設定値と実際の動作時間には10秒程度の誤差があります。



©Hakusan Inc.

2．2．3　UPS停止遅延時間の設定

Web UIのサイドメニューより、“UPS Management > UPS Settings” を選択します。
情報表示部の“UPS Shutdown Delay (sec)”が （2）UPS停止遅延時間の設定値です。
120を設定します。 ※ 停電確定後、120秒後にUPS出力を停止します。
※ 設定値と実際の動作時間には10秒程度の誤差があります。
上記設定後に、“Apply”ボタンを押して、設定を確定させます。

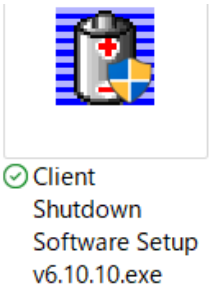


©Hakusan Inc.

2．3　Client Shutdown Softwareのインストール

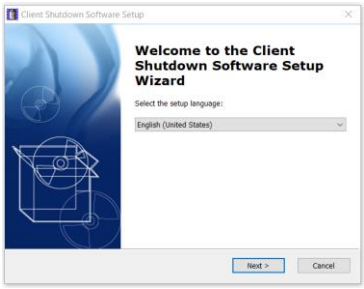
（1）　シャットダウン連携させるPCにClient Shutdown Software（Windows版）をインストールします。
Client Shutdown Software をURL「https://hakusan-mfg.co.jp/software-download/」からダウンロードしてください。
セットアップファイル“Client Shutdown Software Setup xxxxx .exe”(*1) を任意のフォルダに格納した後、格納した“Client Shutdown Software Setup xxxxx .exe”フォルダをダブルクリックしてセットアップを実行します。
（a）をダブルクリック後、（b）の画面にて“はい”をクリック、（c）～（e）は“Next”、（f）にて“Install”をクリックし、（g）ではインストール完了するのをお待ちください。
※（a）→（b）→ …… →（h）の順で進みます。（*1）xxxxx はバージョン表記などです。

（a）



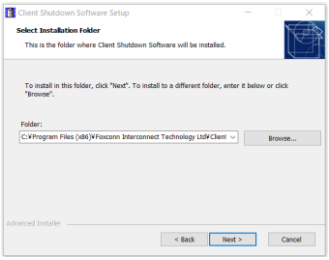
（b）

（c）

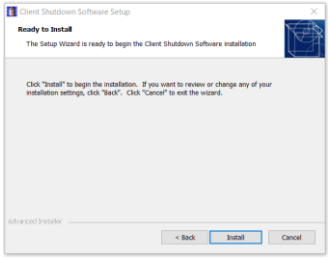


（d）

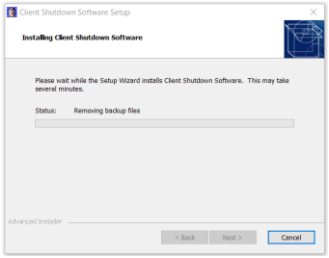
（e）



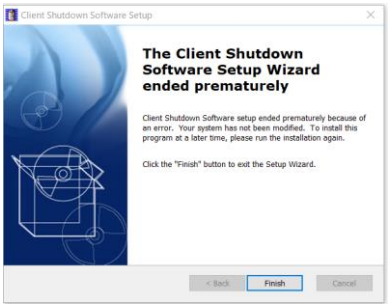
（f）



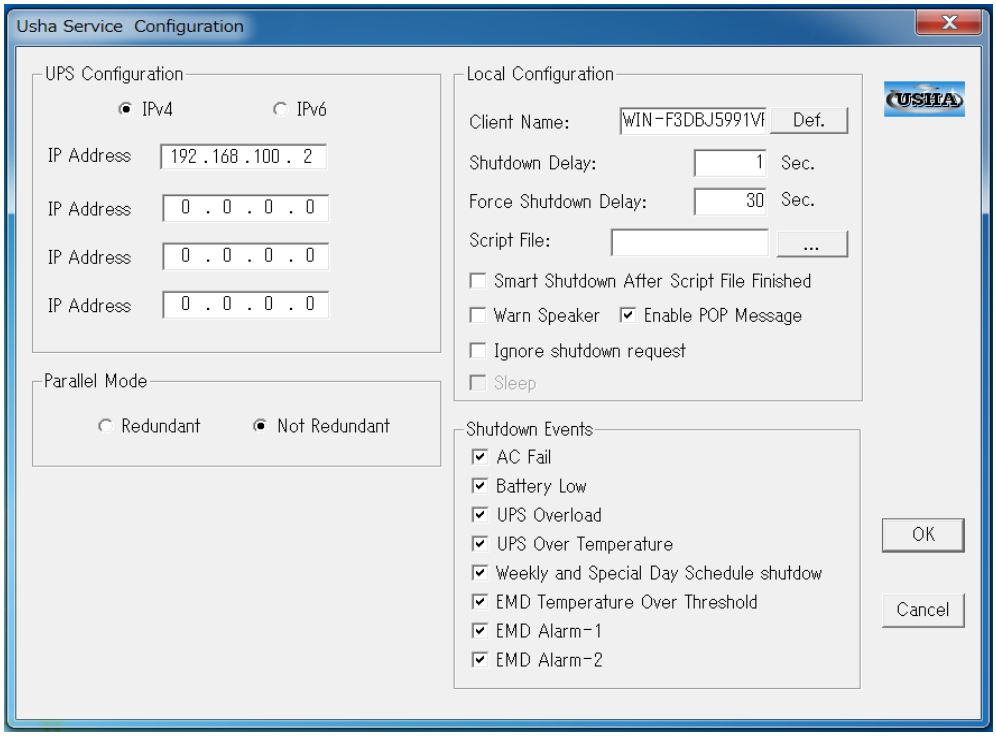
（g）



（h）



（2）　インストールが完了すると、以下のような設定画面が表示されます。



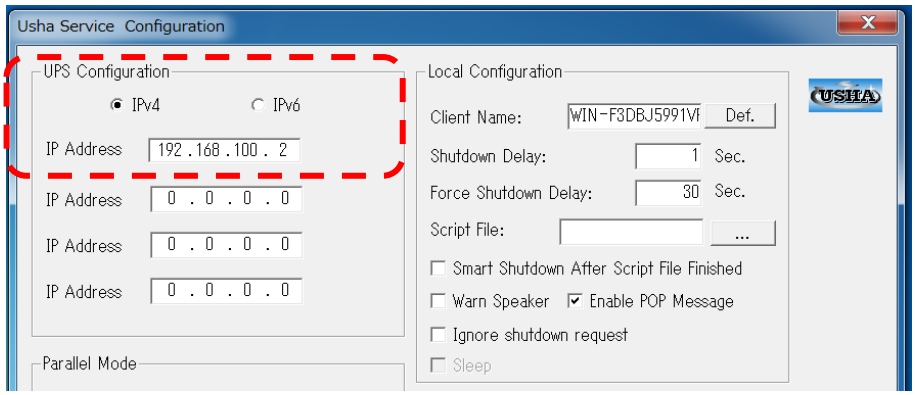
©Hakusan Inc.

2．4　PC側のシャットダウン設定

2．4．1　SNMPカードの登録

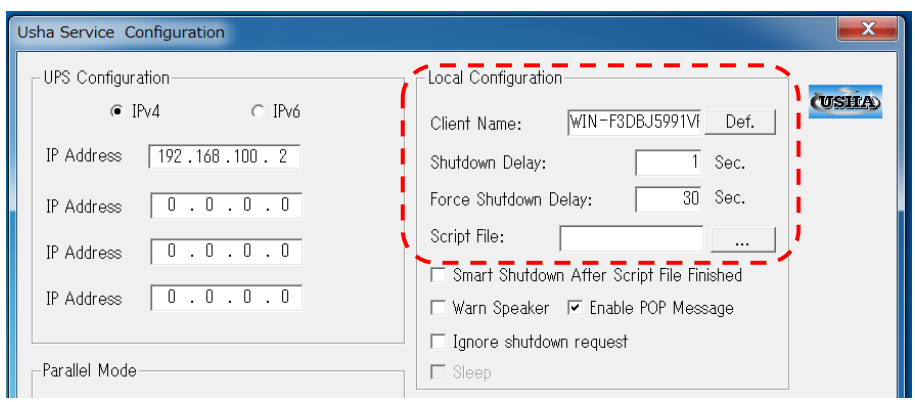
SNMPカードのIPアドレスを登録します。
SNMPカードのIPを登録すると、Client Shutdown SoftwareとSNMPカードが通信を行い、PCのシャットダウン設定が有効になります。

UPS Configuration 部の　IPv4 を選択し、SNMPカードのIP：192.168.100.2　を設定します。



2．4．2　ユーザスクリプト、OSシャットダウン開始時間、OS強制シャットダウン開始時間の設定

設定項目
Shutdown Delay：　　（3）OSシャットダウン開始時間
Force Shutdown Delay：（4）OS強制シャットダウン開始時間
Script File：　　（A）ユーザスクリプトの設定です。



以下のように設定します。

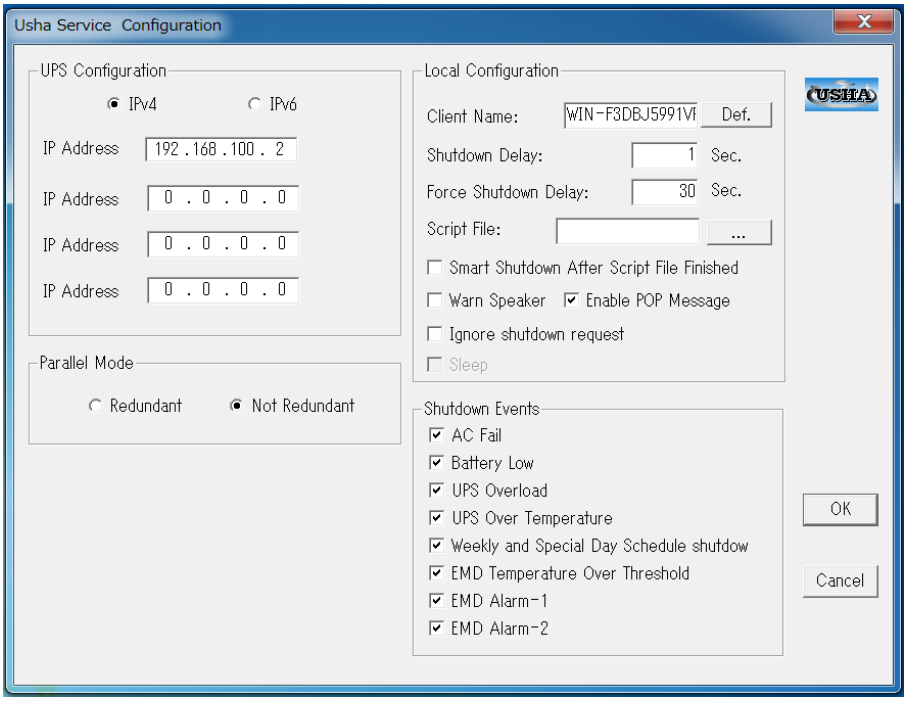
（3）OSシャットダウン開始時間：　　1秒　（停電確定後、直ちにシャットダウン）
（4）OS強制シャットダウン開始時間：　無効　（（A)の定義がない場合、ここの値は無効です。）
（A）ユーザスクリプト：　　設定しない（空白にしてください。）

©Hakusan Inc.

2．4．3　設定の有効化

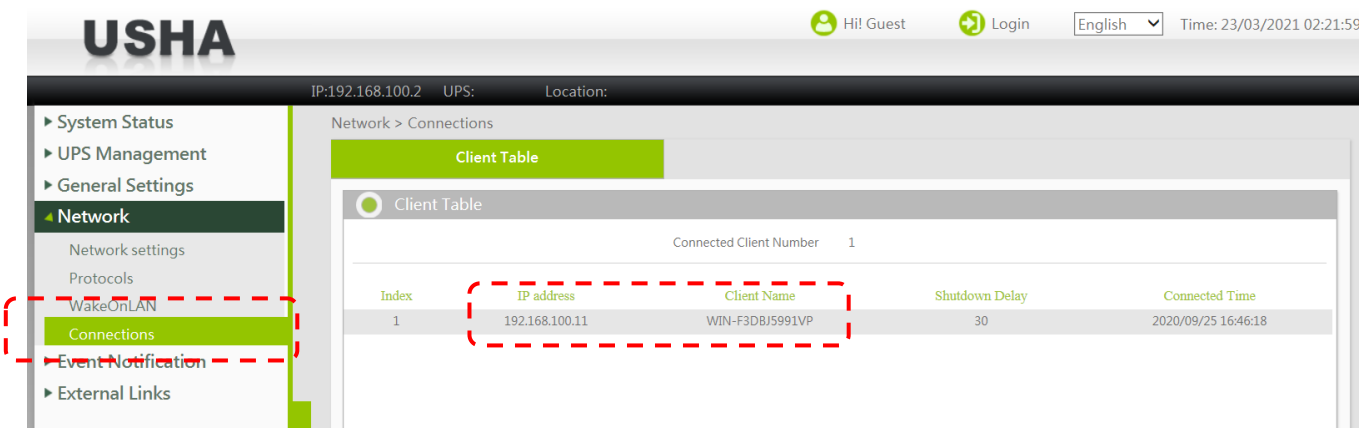
他の設定項目は以下の画面を参照してください。
“Client Name”はPCのネットワーク名が初期値として入力されます。任意に変更可能です。

“OK”を選択すると、設定が有効化されます。



2．4．4　接続の確認

SNMPカードのWeb UIから、Client Shutdown Software　(PC)の接続状態を確認します。



SNMPカードのWeb UIサイドメニューより、“Network > Connections” を選択します。
先に登録したPCのIPアドレスと“Client Name”が表示されていれば、PCはSNMPカードに認識されています。

■3．停電・PCシャットダウン試験

UPS本体の入力プラグを商用電源から外して、擬似的に停電を発生させます。
停電発生から約60秒（～70秒）でOSのシャットダウンが開始され、
停電発生から約180秒（～190秒）でUPSが停止することを確認してください。
再度UPSの入力プラグを商用電源に接続し復電させると、UPSが自動的に起動し、PCへの給電が再開されます。

©Hakusan Inc.